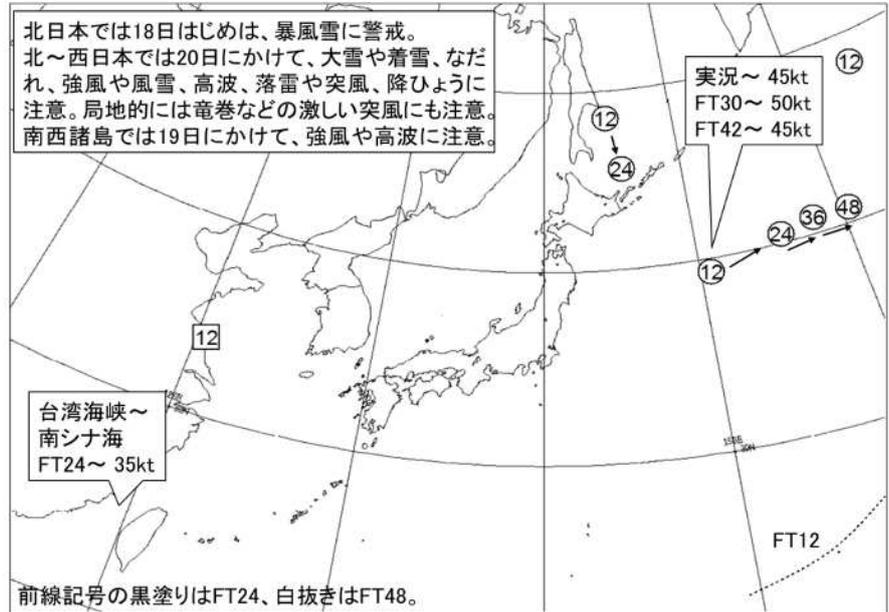


1. 実況上の着目点

- ① 日本付近は西高東低の強い冬型の気圧配置となっている。西～北日本の日本海側を中心に降雪となっており、多い所で3時間に15cm前後を観測。また、上空寒気の影響で大気の状態が不安定となっており、北日本日本海側では雷を検知。
- ② 500hPa5160m付近の-42℃以下の寒気を伴うトラフが中国東北区にあって、南東進。
- ③ 冬型の気圧配置の影響で、気圧の傾きが大きくなっており、全国的に雪を伴った強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高くしけとなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 日本付近の冬型の気圧配置は20日にかけて続き、西～北日本は850hPa-9～-15℃の寒気に覆われる。1項②のトラフは18日夜には北日本に進み、東日本には500hPa-36℃以下、東～北日本には700hPa-24℃以下の強い寒気が流入し、19日にかけては強い冬型の気圧配置となる。このため、西～北日本では降雪が強まり、日本海側を中心に太平洋側でも大雪となる所があり、普段雪の少ない東～西日本の平野部でも積雪となる所がある。西～北日本では20日にかけて、大雪や着雪、なだれに注意。また、20日は日本海寒帯気団収束帯（JPCZ）が形成し、20日朝は中国地方日本海側を指向、その後東進し20日夜は若狭湾付近を指向する。JPCZ 周辺や下層風の収束する所では、雪雲が発達し降雪量が多くなり、警報級の大雪となるおそれがあることに留意。
- ② 冬型の気圧配置の影響で、気圧の傾きが大きくなり、雪を伴った強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高くしけとなる所がある。北日本では18日はじめは、暴風雪に警戒。西～北日本では20日にかけて、強風や風雪、高波に注意。南西諸島では19日にかけて、強風や高波に注意。
- ③ 上空の強い寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となる所がある。西～北日本では20日にかけて、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量 (06時からの24時間) : 多い所 (100mm以上) はない。
- ② 降雪量 (06時からの24時間) : 東北・北陸70、関東甲信・東海・近畿50、中国40、北海道30cm。
- ③ 波浪 (明日まで) : 北海道・東北・伊豆諸島5、北陸・近畿・中国4、その他広い範囲で3m。
- ④ 大潮 (明日まで) : 北日本では、注意報基準を超過する所がある

5. 全般気象情報発表の有無 「大雪に関する全般気象情報」を5時頃に発表予定。